



JAグループ栃木

耕そう、大地と地域の未来。

明日を拓く…地域と共に

JAなす南



2025

6

No.315

げんきいっぱい!



特集 持続可能な農業の実現へ

【目次 ~CONTENTS~】

- ・持続可能な農業の実現へ…………… 3
- ・トピックス (JA活動報告) …… 4~5
- ・連載コーナー『4つ葉通信』…………… 9
- ・お知らせ (月の予定) …………… 12

JAなす南HPは
こちら



JAなす南Instagramは
こちら



JAなす南LINEは
こちら



持続可能な農業の実現へ

第26回通常総代会

J Aは5月24日に那珂川町小川総合福祉センター「あじさいホール」で、第26回通常総代会を行いました。総代500人のうち、425人が出席（本人出席172人、書面出席253人）しました。



▲議案の説明を聞く総代の皆さん



▲あいさつを述べる中山組長

中山正樹組長は冒頭のあいさつで令和6年度を振り返り、「物価の高騰が未だ収まらず、燃料や肥料などの生産資材、物流にかかるコストは増え続け、生産者にとって厳しい経営環境に直面している。こういった影響を最小限に抑えるため対応してきたが、さらなる支援と対策を講じる必要がある」と力強く述べました。

6年度には米価の高騰という異例の事態が発生し、農家組合員のみならず、消費者、そして社会全体に大きな影響をもたらしました。園芸品目等においても高値で推移し、需要と供給の

バランスから、J Aとしても取引先等への販売促進や価格交渉において困難を伴いました。そのような中でしたが、当J Aでは事業利益6千万円、当期剰余金7千万円を確保する事ができました。

一方で、食料・農業・農村基本法が平成11年の制定以来、四半世紀ぶりに改正されました。これは世界の食料需給の不安定化、温暖化の進行、我が国の人口減少等、農業・農村をめぐる情勢の変化に対応し、食料安全保障の確保、環境と調和のとれた食料システム確立、農業の持続的発展のためとされています。この改正により、J Aも新たな役割を担うことが期待されています。

昨年11月に開催した第33回栃木県大会では、「持続可能な農業の実現」「豊で暮らしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を掲げ、各取組戦略の実践を決議しました。当J Aにおいても、これらの実現に向け、「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力3か年計画」を策

定し、実践してまいります。

J Aでは、地域の皆様と力を合わせ、持続可能な農業を実現し、次世代に豊かな農村社会を引き継ぐため、事業活動を展開してまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

議長には、那珂川町馬頭の西宮一美氏、那須烏山市鴻野山の荒井喜代子氏が選出され、提出した議案は原案通りすべて承認されました。

総代の皆さまにおかれましては、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。ありがとうございました。



▲議長を務めた西宮氏◎と荒井氏

着果良好で摘果講習開催

J A梨部会



▲高橋主任(左)と意見を交わす部会員

J A梨部会は部会員のほ場で5月8日に、令和7年産梨の摘果講習会を開きました。部会員、関係者ら26人が参加して、摘果のポイントと病害虫防除を確認しました。

管内の「幸水」「豊水」の開花時期は例年に比べやや遅れましたが、結実数は平年並みで、目立った病害虫被害もなく順調に生育しています。講師は県塩谷南那須農業振興事務所の高橋優太郎主任が務め、品種別に摘果の実施期間や摘果ポイントを説明しました。部会員らも実際に作業して、孫花の見分け方など落とす実の基準を確かめました。



出荷規格を統一

J A春菊・きゅうり部会



▲規格を統一する部会員と関係者ら

J Aなす南春菊・きゅうり部会は5月8日、J A本店で令和7年産キュウリの出荷目揃会を開きました。部会員や関係者ら18人が参加し、出荷規格を統一しました。

出荷目揃会で、部会員らは現物を手に取り、腹白の長さや曲がりの程度などを実際に測り基準を確かめました。J A担当者は、梱包時の注意点を説明し、部会員はキュウリの向きやラベルの取り扱いについて、意見を交わしました。また同日、部会員のほ場で現地検討会を開き、今後の栽培管理を学びました。



各地で田植え体験盛ん



▲農家と一緒に田植えを楽しむ児童ら(滝)



▲農家の掛け声で一斉に植える参加者ら(大内)



▲家族で田植えを楽しむ参加者ら(小砂)

「5月12日」那須烏山市の滝の棚田を守る会は5月12日に、烏山小学校5年生児童を受け入れ、田植え体験をしました。

児童らは、慣れない泥の感触に戸惑いながらも、農家らの指導を受け、楽しみながら植え進めました。同会の檜山正人会長は「この棚田は烏山線を眺める場所。依頼があれば今後も児童を受け入れたい」と話しました。田植えを終えた女子児童は「普段経験できない貴重な体験だった。とても楽しかった」と笑顔を見せました。

「5月18日・25日」那珂川町の大内里山農業体験棚田オーナークラブは5月18日に、都市住民との交流事業として棚田田植え体験を行いました。宇都宮市など町外から13人が参加し、7坪の水田で約2時間汗を流しました。また、小砂里山農業体験棚田オーナークラブは5月25日に、県内の親子や大学生・高校生ら約60人が参加して、田植え体験を行いました。

参加者らは、苗かごを腰に付けて畦沿いに一列に並び水田に入りました。始めは泥に足を取られ苦戦しましたが、慣れると農家や参加者同士の会話を楽しむ余裕も見えました。宇都宮市の緑化ボランティア仲間4人と参加した神山美智子さんは「今回で3回目。毎年、田植え体験と手料理を楽しむにしている。農家の皆さんの優しさが嬉しく、交流が楽しい」と話しました。





▲生育状況を確認する部会員と関係者ら

栽培の不安を話し合う

JA果樹部会

JA果樹部会は5月19日に、部会員のほ場で現地検討会を開きました。部会員や関係者ら14人が参加し、ウメとプラムの生育状況を確認しながら今後の栽培管理を確認しました。

県塩谷南那須農業振興事務所の高橋優太郎主任は、病害虫防除の重要さや、収穫後のウメの管理方法、栽培中の注意点を指導しました。令和7年産のウメ、プラムの生育はともに良好で、出荷量も平年並みの見通しです。興野幸男部会長は「収穫する際にはけがのないように注意して作業を行って欲しい」と話しました。



▲実演を見て意見を交わす部会員ら

中山かぼちや採種学が

JA中山かぼちや部会

伝統野菜「中山かぼちや」を後世に残すため、JA中山かぼちや部会は5月14日に部会員のほ場で初めて採種講習会を開きました。部会員、関係者ら12人が参加して、採種用カボチャの栽培管理を確認しました。

講師の種苗会社職員からは、採種用株の選定、交配のポイントなど、実演を交えた丁寧な説明を受けました。部会員らは、花粉のつけ方やタイミングなど細かく質問し、理解を深めました。佐藤正宏部会長は「今回学んだことを各自実践し、分らないことは都度共有する。部会として中山かぼちやを次代につなげていきたい」と話しました。



▲サツマイモの定植の説明を受ける園児ら

園児らが定植を体験

JA青壮年部・那珂川町農業委員会

JA青壮年部は5月29日、那珂川町農業委員会と農業体験学習会を開きました。町立わかあゆ認定こども園の園児35人が参加し、サツマイモの苗と花の苗の定植を行いました。

青壮年部の平山貴陽部長は「今日は美味しいサツマイモを作るためにみんなで一緒に頑張ろう」と挨拶しました。園児らは「大きいサツマイモになってね」と一生懸命定植を行いました。定植後、サツマイモや青壮年部のマスコットキャラクターなどについてのクイズで楽しく理解を深めました。植えたサツマイモは農業委員が管理し、10月下旬に園児らが収穫を行う予定です。



▲栽培管理の説明を受ける部会員ら

品質の高い農産物を目指して

JAみなみちやん南瓜部会

JAみなみちやん南瓜部会は5月27日に、部会員のほ場で第1回現地検討会を開きました。部会員や関係者ら20人が参加して、生育状況を確認し、今後の栽培管理を確認しました。

園芸植物育種研究所の篠崎哲雄部長は、大雨による肥料流出の対策や人工授粉のタイミングを丁寧に説明しました。部会員らは、追肥の位置や農薬の適正量、使用時期などについて積極的に質問し、栽培管理の理解を深めました。同部会の木村康男部会長は「これからの天候に合わせた追肥や防除を行っていきたい」と話しました。





お米の出荷はJAへ!



● JA米穀事業の取組み ●



業務用と家庭用精米のバランスの良い販売!

とちぎ米のさらなるブランド化を推し進め、コロナ後の需要回復の機を逃さずに環境に左右されない実需者への販売により業務用米と家庭用精米とのバランスの良い販売を目指しています。



JAへの集荷結集による、販売先との事前契約!

販売先と複数年契約などの事前契約を結び、米の需給環境に左右されにくい環境づくりに取り組んでいます。



組合員に向けて最大限の精算を行う!

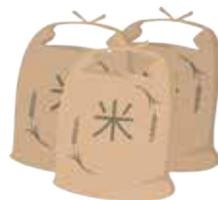
JAからの精算金は、それまでにかかった流通経費などの諸経費を差し引いた最大限の金額を組合員に精算しています。

最大限の販売価格の設定を行うとともに、販売が完了する最後の最後まで流通経費の削減を図ることで、組合員の皆さまに最大限の精算ができるよう努めています。



JAの共計米はインボイス制度に対応しています!

JAの共計米は、農協特例の対象で**組合員はインボイス発行が不要**です。課税事業者も免税事業者も現行通りの対応となります。



販売果樹生産者の皆様へ ～近隣市町でクビアカツヤカミキリ発生中～

クビアカツヤカミキリは、幼虫がモモ、ウメ、サクラ等の樹木内部を食い荒らし、樹木を衰弱・枯死させる外来害虫です。

現在、県南地域で被害が増加、深刻化しており、今後、発生地域が拡大することが懸念されます。

クビアカツヤカミキリを発見した場合、「速やかに捕殺する」、「登録農薬により防除する」等の対策をとるとともに、お近くの農業振興事務所または農業総合研究センター環境技術指導部防除課にお知らせください。



※住宅・会社・市町有地(販売用生産園地以外)での発生に関しては、お住まいの市町環境担当部署にご連絡ください。

問い合わせ先：塩谷南那須農業振興事務所 経営普及部
(TEL 0287-43-2318)
農業総合研究センター環境技術指導部防除課
(TEL 028-665-1244)

イネカメムシの発生に注意!!

県内で水稻害虫「イネカメムシ」の発生が拡大しています。イネカメムシが出穂期に稲を加害すると、不稔米が発生し収量が低下します。また、乳熟期に加害すると斑点米が発生し品質が低下します。

ほ場内をよく観察し、イネカメムシを発見した場合は必ず薬剤防除(通常の乳熟期防除に加えて出穂期防除)を行うとともに、お近くのJAまたは塩谷南那須農業振興事務所にお知らせください。



写真：栃木県農業総合研究センター原図

栃木県では、「カメムシ防除作戦」のサイトを開設し「発生予察情報」、「防除対策情報」について情報発信しています。左のQRコードからご確認ください。



▲栃木県HP
「カメムシ防除作戦」

問い合わせ先：JAなす南本店 営農部
(TEL 0287-96-6170)
塩谷南那須農業振興事務所 経営普及部
(TEL 0287-43-2318)

ほ場見学会のお知らせ

J Aなす南では、野菜の栽培者拡大に重点的に取り組んでいます。令和7年度は、各生産部会や栃木県塩谷南那須農業振興事務所と協力し、11品目の野菜で「ほ場見学会」を開催しています。7月は、「みなみちゃん南瓜」、「ねぎ」、「アスパラガス」の3品目を、下記の日程で開催します。

経営に野菜を導入し、所得アップを目指しましょう。興味をお持ちの野菜を、実際に見て、実感を持っていただく良い機会ですので、ぜひご参加下さい。

品目	日時	内容
みなみちゃん南瓜	7月11日(金) 9:30~11:00 見学ほ場：那須烏山市三箇(9時00分まで) J A梨・トマト選果場に集合してください	みなみちゃん南瓜の栽培状況
ねぎ	7月15日(火) 9:30~11:00 見学ほ場：那珂川町久那瀬(9時00分までに) J A本店に集合してください	ねぎの栽培状況
アスパラガス	7月22日(火) 9:30~11:00 見学ほ場：那珂川町和見(9時00分まで) J A本店に集合してください	アスパラガスの栽培状況

お問い合わせ、参加申し込みは、J Aなす南園芸販売課 TEL(96-6170) までお願いします。

みなみちゃん南瓜

【栽培のポイント】

J Aなす南みなみちゃん南瓜部会では、20名の生産者で4.5ha栽培しています。



種子から育苗する方法と定植苗を購入する方法の2種類あります。

労力時間は施設野菜や葉物野菜と比べて少なく、収穫後に数日は保存が可能なので、ゆとりを持った作業ができます。

ねぎ

【栽培のポイント】

J Aなす南ねぎ部会では、22名の生産者で5.9haのねぎを栽培しています。



露地栽培が基本で、年間を通して出荷をすることができます。農休日の設定が容易で、労力に応じた収穫、調製、出荷が可能です。定植機・収穫機を使用することで作業効率が上がります。

アスパラガス

【栽培のポイント】

J Aなす南管内では、50aのアスパラガスを栽培しています。



一度定植すると10年以上もの期間、収穫し続けられることがアスパラガスの最大の特徴です。

収穫ができるのは2年目以降ですが、2年目以降は定植作業がなく、病害虫防除と収穫調整が作業の大部分を占めます。このため、水稲との労力競合が少ない品目といえます。

＼ 今月のおすすめ ＼

とりたて野菜直売所 「ウメ」

直売所では小さなウメと大きなウメを両方取り揃えているため、お好みの大きさの「ウメ」が購入できます。酸味があり、食感が良いため、漬物におすすめです！

那須烏山市初音7番地5(烏山支店構内) TEL: 84-0731
【営業時間】 月～金 8時30分～13時 土 8時30分～12時



	6月中旬	6月下旬	7月上旬	7月中旬
トマ				
ウメ				
プラム				
ナス				
アスパラ				
キュウリ				
みなみちゃん南瓜				
中山かぼちゃ				
ミョウガ				
菌床シイタケ				
ニラ				



◀ 苗の説明を行う会員ら



JAなす南 女性会 活動報告

2025/May.

会員募集

JAなす南女性会では、一緒に活動する仲間を募集しています！年間を通して様々な活動に取り組んでおり、「フレッシュミズ」と呼ばれる20代から40代の若手会員も元気に活動中です。まずはお気軽にお問い合わせください！

問い合わせ先
経済部生活福祉課
96-6176



▲児童と一緒に植え付けを行う会員ら

女性会は5月29日に青壮年部と那珂川町農業委員会主催のわかあゆ認定こども園農業体験に農業委員を兼ねた会員が参加しました。

児童と一緒にさつま芋の苗400本とサルビア、マリーゴールドの花苗150本の植え付けを行いました。また、さつま芋の苗ができるまでを実物を見せながら園児に話しました。



▲園児らに食育活動の説明をする部員ら



▲園児らと定植を行う部員ら



▲青年部太郎と交流する園児ら

青壮年部は5月7日と14日、21日に那須烏山市立すくすく保育園と那須烏山市立なすから認定こども園、那珂川町立ひばり認定こども園で食育活動を行いました。



▲報告会に参加した部員ら

青壮年部は5月18日に風月カントリー倶楽部で、栃木県議会議員の沼田県議県政報告会に参加しました。



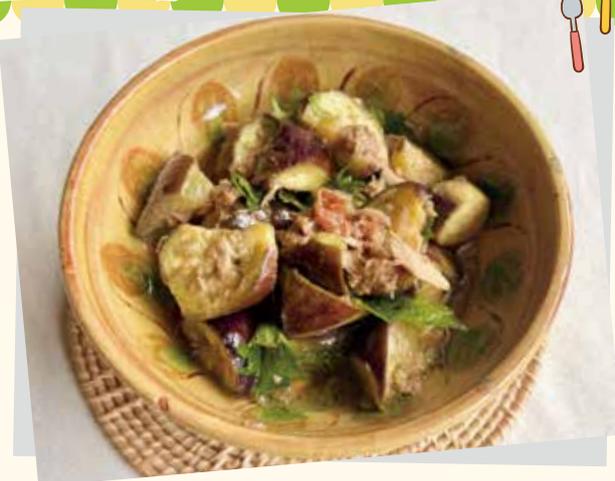
▲意見を述べる平山部長(左)

青壮年部は5月20日に、第1回部長事務局合同会議に参加しました。令和7年度の県連盟活動と青年大会について話し合いました。



▲注文した品物を受け取る利用者と部員

青壮年部は5月20日と22日に、リハビリステーション歩で農産物販売を行いました。今回は予約注文をしたトマト、にらの販売を行いました。



元気のもの夏野菜、丸ごと栄養をいただいて
暑い夏を乗り切ろう

栄養の宝庫・ナスを
丸ごと楽しむ

蒸しナスと ツナのマリネ

レシピ提供 ● 料理研究家 和田麻紀子

材料

- | | |
|------------------|---------------|
| ナス……………3本(約250g) | しょうゆ……………大さじ1 |
| ツナ(油漬)…小1缶 | 梅干し……………小1個 |
| | オリーブ油…大さじ1/2 |
| | シソ……………5枚 |

作り方

- ①ナスはへたを落として縦にしま模様になるようピーラーで2、3カ所皮をむき、一口大の乱切りにする。Aの梅干しは種を取って刻んでおく。
- ②レンジ可のボウルに①のナスを入れ、水にくぐらせて水気を軽く切る。そのままボウルにツナとAを入れてラップをし、レンジ(600W)で2分加熱する。軽く混ぜてさらに2分加熱し、刻んだシソをあえたら出来上がり。塩味は梅干しの塩分濃度によるので味見をして調整する。

ポイント

ナスは自律神経を整えてくれるといわれ、夏バテ防止にとっても良い野菜です。水にさらし過ぎず、くぐらせる程度に。皮に栄養が多いためむき過ぎないようにしましょう。

アレンジ

- ・ショウガを加える
- ・オリーブ油をごま油など好みのものに変える



職員File



- 馬頭支店 金融窓口 五月女 七葉
 - 何事も根気強く頑張ります！
もうしばらく、暖かい目で見守ってくださると嬉しいです。
- Q 趣味は？
A. 絵を描くこと
最近はアニメやゲームのキャラクターの絵を描くことが多いです。
子供の頃から続けられている趣味です！

、今月のおすすめ商品、

なす漬の素
240g



通常価格 550円(税込)

特別価格 540円(税込)

風味豊かな色良いなす漬が誰でも簡単に漬けられる大人気商品！小袋1袋で300g~400gが漬けられます。なす以外にも水菜やキャベツも美味しく漬けることができます。

あっさり漬の素
420g



通常価格 800円(税込)

特別価格 780円(税込)

刻んだ野菜に混ぜるだけで、手軽にサッとサラダ感覚のおいしい浅漬けができます。粉末タイプの小袋入りで、漬物以外にも炒飯や唐揚げで大活躍の優れものです！

販売期間 令和7年6月19日(木)~7月18日(金)

※商品は、南部経済店舗・北部経済店舗でお買い求めいただけます。お問合せは、お近くの店舗または本店経済課(☎96-6175)まで。

〈特集〉 時短で手間なく 栄養たっぷり夏ごはん

今年の夏も猛暑が予想されています。暑さで体が疲れやすく、炊事が面倒になるこの時期に、たんぱく質をたっぷりとれて疲労回復になる食事、体の調子を整える腸活レシピ、夏野菜がたっぷりとれるスピード栄養レシピなど、夏を元気にのりきるためのレシピや食べ方を紹介します。



●戦争を伝える～未来へのバトン～

8月で太平洋戦争の終結から80年を迎えます。戦争を経験した世代が減り、惨禍の記憶が薄れつつあるいま、戦争体験者や、戦争について伝える活動をしている方にお話を聞き、改めて平和について考えます。



●農ライフのすすめ 夏の庭SOS大作戦

年々厳しさを増す夏の暑さ。外に出るのがままならないと、庭に出る機会も減り、手入れもままなりません。しかし、高温多湿による蒸れや高い地温、厳しい日ざしから植物を守ることでダメージを最小限に抑えることができます。併せて、暑さに強く1鉢でも映える華やかな花や、暑さを好み、晩春から秋まで咲き続ける花など、暑さに負けずに育つ花も紹介します。



8月号(7月1日発売) 定価/922円(税込)
※付録月号(1・4・5・7・9月号 定価/922円 12月号 定価/1,027円)
※企画・タイトルは変更する場合がございます。
お問合せ先 経済部経済課TEL96-6175

理事会報告

令和7年5月28日 本店大会議室にて

決議事項

- ◎令和7年度理事報酬の配分について
- ◎行政庁提出用業務報告書について
- ◎信用の供与等の最高限度額について

協議事項

- ◎4月末総合財務並びに総合収支について



編集後記

こんにちは！広報担当のひよこです！少しずつ気温が高くなってきましたが、みなさんはどのように暑さを乗り切っていますか？我が家では少しずつ扇風機の出番が増えてきたところです…。これから夏バテや熱中症になりやすい時期になっていきますので予防をしっかりしたいですね！

今回の広報誌の作品コーナーではJAなす南公式Instagramの投稿をご紹介させていただいています！Instagramの投稿も私が担当させていただいているのでぜひご覧ください！



まちがいさがし

間違いは5つ！

左下の枠内の数字で答えましょう



正解者の中から抽選で5名様にエコーブ商品が当たります♪

応募方法 | ①クイズの答え ②郵便番号と住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
⑥JAへの意見・本誌に対する感想などを書いて、下記の宛先までご応募ください。
送り先 | 〒324-0513 那珂川町白久10 JAなす南 総務人事課広報係

締め切りは7月10日(木)の消印有効です。

●当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。●個人の情報については、賞品の発送以外には使用しません。

《5月号まちがいさがしの答え 1・4・5・7・10》

